

ヨーソロー1000人プロジェクト

企画内容	<p>復興支援曲「ヨーソロー」を1000人で和太鼓を打つ。 1000人もの太鼓の響きや踊りなどのパフォーマンスで千葉県のみならず復興の願い、また元気を発信する。</p>						
経緯	<p>「ヨーソロー」は、東日本大震災の時、日本太鼓TAKERUがプロの和太鼓奏者として「演奏で元気を届けたい」という想いを作曲した復興応援曲である。 TAKERUが監修する和太鼓フェスタ(千葉市内で開催)などたくさんの和太鼓団体が集まるイベントのフィナーレ曲であり、「必ず思いよ届け」と、この曲を「元気玉」に変えてみんなの心を一つにして演奏してきた。 また、「元気玉プロジェクト」を立ち上げ、演奏の時には必ず義援金箱を用意してきた。 皆様から預かった元気玉(義援金)と合わせて、福島県いわき市の高等学校へ太鼓を、太鼓団体へバチを贈る等各地での演奏で元気玉を届ける事を実施してきた。 更に、太鼓をお贈りした高等学校では、演奏指導させて頂いたヨーソローの曲が今でも後輩に受け継がれ、自らも福島のイベントでは必ず演奏し見に来られた方々に元気を届けてきた。 このような経緯のもと ヨーソローの演奏の輪をもっと広げて、日本中を元気にしたいという思いをまずは、日本太鼓TAKERUが拠点にしている千葉から発信するために1000人という目標を立てて実施したいと考えた。</p>						
目的	<p>ヨーソローには「皆で力を合わせて演奏し、前に、未来に、進んで行こう」との意味が込められている。自分の目で見て感じて作られた曲でもある。 イメージは、大海に出る船。目的地に行くまでに出くわすであろう大波小波。船に乗る人たち。舵を取る人、船を漕ぐ人、声を掛け合う人たち等。それぞれがそれぞれの役目をしながら、助け合い力合わせて船を漕ぐ。前へ前へ、目的地へ、未来へ船を漕ぐ。 このような姿をパーツに分かれ太鼓で演奏する。乗組員(パフォーマー)が多ければ多いほど船出のイメージ(元気の源)が大きくなり、演奏者は勿論見てくださる方にも強く伝わる。</p>						
実施内容	<p>毎年の実施日を目指して参加者を募集し、ワークショップを実施する。 指導は無償で行う。 但し、参加者の登録後の連絡などの事務手続きとして一人500円を参加費とする。 バチは、練習中はレンタルとするが、必要であれば購入していただくことになる。 太鼓、手作り太鼓、篠笛、踊りなど参加パフォーマンスは多種用意。 出来れば、指導をした福島の学生も参加ができるようにしたい。</p>						
コンセプト	<p>元気 元気発信基地「千葉」を目指す</p>						
実施日	<table border="0"> <tr> <td>2016年3月6日 雨天決行 豊砂公園実施</td> <td>60人ヨーソロープロリーグ</td> </tr> <tr> <td>2016年10月16日 千葉中央公園実施</td> <td>120人ヨーソロー</td> </tr> <tr> <td>2017年3月12日 幕張海浜公園Gブロック実施</td> <td>300人ヨーソロー</td> </tr> </table>	2016年3月6日 雨天決行 豊砂公園実施	60人ヨーソロープロリーグ	2016年10月16日 千葉中央公園実施	120人ヨーソロー	2017年3月12日 幕張海浜公園Gブロック実施	300人ヨーソロー
2016年3月6日 雨天決行 豊砂公園実施	60人ヨーソロープロリーグ						
2016年10月16日 千葉中央公園実施	120人ヨーソロー						
2017年3月12日 幕張海浜公園Gブロック実施	300人ヨーソロー						

	2018年3月11日予定、または4日予定	500人ヨソロー
主催	ヨソロー1000人プロジェクト実行委員会	
監修	日本太鼓TAKERU http://nippondaiko.com	